(b)　排出ガスがトンネルに戻る場合

$$M_p=\frac{V_{mix}\times P_e}{V_{ep}\times d}$$

V_{mix}：基準条件における希釈排出ガスの体積（2.参照）(l/test)

V_{ep}：基準条件におけるPM捕集フィルタを通過する希釈排出ガスの体積　(l)

P_e：捕集フィルタによって収集されたPMの質量（mg）

d：各サイクルフェーズにおける実走行距離（km）

M_p：PMの排出量（g/km）

3.3.1.1.　希釈システムによるPM排出量をバックグラウンドの排出量で補正する場合は、その値を別紙6の1.2.1.2.1.により算定すること。この場合において、PMの排出量（g/km）を次に掲げる場合ごとに、それぞれに定める式により算定すること。

(a)　排出ガスがトンネル外に排出される場合

$$M_p=\left\{\frac{P_e}{V_{ep}}-\left[\frac{P_a}{V_{ap}}\times\left(1-\frac{1}{DF}\right)\right]\right\}\times\frac{(V_{mix}+V_{ep})}{d}$$

(b)　排出ガスがトンネルに戻る場合

$$M_p=\left\{\frac{P_e}{V_{ep}}-\left[\frac{P_a}{V_{ap}}\times\left(1-\frac{1}{DF}\right)\right]\right\}\times\frac{(V_{mix})}{d}$$

V_{ap}：基準条件においてバックグラウンドのPM捕集フィルタを通過するトンネル空気の体積(l)

P_a：別紙6の1.2.1.2.1.により算定した希釈空気又は希釈トンネルのバックグランドのPMの重量（mg）

DF：3.2.1.1.1.により算定した希釈率

ただし、バックグラウンド補正の適用によってPMの排出量（g/km）が負の値になった場合は、PMの排出量を0（g/km）とみなすこと。

3.3.2.　二段希釈法によるPMの排出量は次式により算定すること。

$$V_{ep}=V_{set}-V_{ssd}$$

V_{ep}：基準条件においてPM捕集フィルタを通過する希釈排出ガスの体積　(l)

V_{set}：PM捕集フィルタを通過する二次希釈された排出ガスの体積　(l)

V_{ssd}：二次希釈空気の体積　(l)

ただし、二次希釈されたPMサンプルガスをトンネルに戻さない場合は、CVS体積を単一希釈として次式により算定すること。

$$V_{mix}=V_{mix\,indicated}+V_{ep}$$

$V_{mix\,indicated}$：基準条件におけるPMサンプルガス採取後の希釈システム内の希釈排出ガスの測定体積　(l)

別紙8　電気自動車及び電気式ハイブリッド自動車

1.　一般要件

本別紙の規定は、電気自動車及び電気式ハイブリッド自動車に適用する。ただし、本別紙に特段の定めのない場合にあっては、別紙6の規定を適用するものとする。

1.1.　エネルギー収支

エネルギー収支とは、蓄電装置のΔE_{REESS}（各蓄電装置のRCB値と公称V_{REESS}の積）の合計をいう。

1.2.　電気エネルギー消費試験

表1に掲げる電気エネルギー消費試験に係る測定パラメータは、それぞれに掲げる単位、精度及び分解能で測定すること。

表1　測定パラメータ、単位及び精度

測定パラメータ	単位	精度	分解能
電気エネルギー(1)	Wh	±1％	0.001Wh(2)
電流	A	±0.3％FSD又は読み値の±1％(3,4)	0.01A

(1)　機器は能動エネルギー用の静的計器

(2)　AC積算電力量計計（IEC 62053-21クラス1又はそれと同様のもの）

(3)　いずれか大きい方

(4)　電流積算周波数10Hz以上

1.3.　排出ガス試験及び燃料消費試験

排出ガス試験及び燃料消費試験に係る測定パラメータは、別紙5に規定する自動車と同一の単位及び精度で測定すること。

1.4.　定単位及び試験結果の端数処理

表2に掲げる測定単位及び試験結果に係るパラメータは、それぞれに掲げる単位で測定し、試験結果について端数処理を行うこと。

表2　測定パラメータ、単位及び試験結果の端数処理

パラメータ	単位	試験結果の端数処理
R_{CDA}	km	整数となるよう小数第一位を四捨五入する。
R_{CDC}	km	整数となるよう小数第一位を四捨五入する。
距離	km	整数となるよう小数第一位を四捨五入する。ただし、計算の過程で使用する場合は小数第二位を四捨五入する。
NEC	Wh	小数第二位を四捨五入する。
NEC比	％	小数第二位を四捨五入する。

1.5.　電気式ハイブリッド自動車及び電気式プラグインハイブリッド自動車におけるWLTC試験の走行サイクル

1.5.1.　WLTC試験

1.5.1.1.　クラスa車両は、低速フェーズ、中速フェーズa及び高速フェーズaにより構成される走行サイクルを走行すること。

1.5.1.2.　クラスb車両は、低速フェーズ、中速フェーズb及び高速フェーズbにより構成される走行サイクルを走行すること。